

左余白 18mm

上余白 28mm

右余白 18mm

14pt ゴシック →

講演要旨のフォーマットについて

11pt 明朝 →

行事委員会*・編集委員会**

14pt Century 強調(Bold) →

Format of Abstract

11pt Century →

Event Committee* and Editorial Committee**

8pt 明朝 →
Century

*大阪市立大学理学部地球学教室 Department of Geosciences, Faculty of Science, Osaka University,
3-3-138 Sugimoto, Sumiyoshi-ku, Osaka 558-5858, Japan. E-mail: XXX@sci.xxx.ac.jp

**奈良大学社会学部 Faculty of Social Research, Nara University, 1500 Misasagicho, Nara City, 631-
8502, Japan.

20mm

20mm

9pt 明朝 →

キーワード：講演要旨，フォーマット，文字数，ページ数 (← 5個以内)

9pt Century →

Key words : Abstract, Format, Number of character, Number of page

1. はじめに

2017年度第2回評議員会の決定にもとづき、2018年度の日本情報地質学会総会・講演会(GEOINFORUM-2018)から講演要旨は学会ホームページでの公開のみとなりました。講演要旨は投稿されたPDFファイルをホームページでの公開となります。カラーで投稿いただいて構いません。締め切りを厳守して下さい。

2. ページ

ページはA4サイズでページ数は【2ページまで】とします。原稿へのページ番号は付けないで下さい(ただし、裏に鉛筆書きで順番を明記)。

ページ数が多くなる場合、会誌「情報地球学」への投稿をお願いいたします。

ページの余白設定は、上 28mm, 下 20mm, 右・左 18mm,段組の間は6mmです(ヘッダ等は付けない)。

3. 文字数・フォント等

3.1 本文

本文は2段組で1段の1行は9pt明朝全角で26文字、行数は60行。行間隔は基本的に9ptの1行とする。アラビア数字は基本的に半角文字を使う。英数文字はCenturyを用いる。半角カタカナは用いない。句読点は「,」「.」を用いる。1ページ目は表題等を付け、2ページ目以降は一番上の行から利用する。最後のページは左右下部をそろえる。「1.はじめに」などの大見出しは全て全角、10.5ptゴシック。大見出しの前には1行開ける。「2.2 小見出し」は9pt明朝(強調)Boldで番号は半角。

3.2 表題等

1ページ目の最初は以下の書式で作成して下さい。

<2行空白12pt明朝(約13mm)>

- ・タイトル(日本語)14ptゴシック中央
<1行空白11pt明朝(約6.5mm)>
- ・発表者名(日本語)11pt中央(*は半角明朝の上付)
<1行空白14pt明朝(約8.5mm)>
- ・タイトル(英語)14ptCentury強調(Bold)中央
<1行空白11pt明朝(約6.5mm)>

↑ 2行空白12pt明朝(約13mm)

↓

↓ 1行空白11pt明朝(約6.5mm)

↓ 1行空白14pt明朝(約8.5mm)

↓ 1行空白11pt明朝(約6.5mm)

↓ 1行空白11pt明朝(約6.5mm)

↓ 1行空白11pt明朝(約6.5mm)

↓ 2行空白11pt明朝(約11.5mm)

↓

- ・発表者名(英語)11ptCentury中央(*半角明朝上付)
<1行空白11pt明朝(約6.5mm)>
 - ・所属(20mm左右をあけ、8pt明朝半角の「*」に続けて書く。日本語は8pt明朝、英語は8ptCentury)
<1行空白11pt明朝(約6.5mm)>
 - ・日本語キーワード(20mm左右をあける「キーワード:」は9ptゴシック)キーワードは9pt明朝(5個以内)
 - ・英語キーワード(20mm左右をあける「Key words:」は9ptCentury強調(Bold))キーワードは9ptCentury
<2行空白11pt明朝(約11.5mm)>
- 以下本文が2段組で続く。

4. 図表

図、表の番号は第1図、第1表のようにつける。
<図と本文の間は1行空ける>

図表は魚羊明とこ!!

第1図 図・表の説明は8pt明朝(英語はCentury)。

5. 文献(実際の文献には章番号は付けません)

本文中での文献の引用は次のようにする。
(例)「Gill(1976)により,」「・・・である(坂本, 1992).」
引用した文献は最後にまとめて以下の形式で付ける。
<文献と本文の間は1行空ける>

文献(10.5ptゴシック, 中央)

Gill, A. (1976) *Applied algebra for the computer sciences*. Prentice-Hall, Inc., 524p.
坂本正徳(1992)関係行列による層序の推定. 情報地質, vol.3, no.2, pp.121-138.
(各2行目以降は、全角1文字分(3.2mm)下げる)

6. 著作権

雑誌『情報地球学』に掲載された講演要旨の著作権(著作財産権, copyright)は日本情報地質学会に帰属するものとする。

7. おわりに

その他は雑誌「情報地球学」の形式に準拠して下さい。

下余白 20mm

段の間隔 6mm